

Fresh Concert ~CMDJ 2019~  
~より豊かな音楽の未来をめざして~



すみだトリフォニーホール 小ホール

2019年4月8日(月)

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』



## 《ごあいさつ》

Fresh Concert は 2003 年に第 1 回を開催し、本年で第 17 回目を迎えます。過去 16 年間には、2011 年の東日本大震災、福島原発事故という未曾有の大災害、大事故に見舞われ、コンサートの開催が危ぶまれたこともありましたが、そういう難局を関係者の熱意と努力で乗り越え、とうとう 17 回積み重ねることが出来ました。

一見豊かそうに見える我が国ですが、現在の我が国の社会、文化環境は、音楽をめざす多くの若者にとって、決して恵まれているとは申せません。そういう環境の中で、若い才能を発掘し、育成につとめることも、創立以来 50 年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003 年以来、毎年 3 月下旬～4 月上旬に『Fresh concert』を企画し、開催してまいりました。

17 回目を迎える今回も、10 組、12 人、伴奏者を含めると 18 名に及ぶ優秀な若い音楽家たちがステージに立ちます。今回の参加者は、声楽、ピアノ、弦楽器、木管楽器、打楽器と主要な演奏部門の殆どから参加があり、多彩なプログラムとなりました。

どうか、若い音楽家たちが、若々しい情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、暖かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができれば、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない喜びであります。

日本音楽舞踊会議	代表理事	深沢亮子
	理事長	北川暁子
	公演局長	北條直彦
コンサート実行委員長 中島洋一		



## 《演奏者プロフィール》



### 鈴木香栞（すすき・かおり：ソプラノ）

福島県出身。福島県立会津学鳳高等学校卒業。国立音楽大学演奏創作学科声楽専修卒業。同時にオペラソリストコースを修了。現在、同大学院修士課程オペラコース1年に在学中。オーディションを経て国立音楽大学主催の第101回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。これまでに声楽を大田中早苗、澤畑恵美の各氏に師事。

### 寺本 佐和子（てらもと・さわこ：伴奏ピアノ）

東京都出身。国立音楽大学附属中学、高等学校を経て国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修(ピアノ科)卒業。在学時、コレペティートルコースにおいて河原忠之氏のもとオペラ伴奏を学ぶ。くにたち音楽会、新入生歓迎演奏会、ソロ・室内楽定期演奏会、卒業演奏会等にソロ、伴奏で出演。これまでにピアノを佐崎朋子、志茂貴子、日下知奈、奥村友美の各氏に師事。現在、声楽伴奏を中心に研鑽を積んでいる。国立音楽大学伴奏助手。



### 清水 ゆりか（しみず・ゆりか：ヴァイオリン）

玉川学園高等部卒業。ヴァイオリンを星はるみ、三浦章宏、青木高志、S.ガブリロフに、室内楽を漆原啓子、青木高志の各氏に師事。第15回日本演奏家コンクール弦楽器部門高校の部第3位。第21回万里の長城杯国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第3位第39回草津夏期国際音楽アカデミーに大学の研修奨学金を受け参加。国立音楽大学第102回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。また、学内オーケストラでは多数の演奏会でコンサートミストレスを務める。現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修(ヴァイオリン)4年、弦楽器ソリストコースに特別給費奨学生として在学中。

### 庄 恵理香（しょう・えりか：伴奏ピアノ）

群馬県立高崎女子高等学校卒業。第15、17、18回北関東ピアノコンクール各部門にて入賞。入賞者記念推薦コンサートに出演。ドイツにてカリン・ファン・ビューレン、日本にてミシェル・ベロフ各氏のレッスンを受講。声楽・ソルフェージュを波多野千恵美、二見忍の各氏に師事。ピアノを羽切多恵、飯島侑子、吉田佐智子、草野明子の各氏に師事。現在、国立音楽大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)4年ソリストコース在学中。



### 岡田 優芽（おかだ・ゆめ：ソプラノ）

北海道出身。北海道帯広三条高等学校卒業。国立音楽大学声楽専修卒業。現在、同大学院修士課程歌曲コース1年に在学中。声楽を秋山理恵氏に師事。学部在学中、国立音楽大学国内外研修奨学生としてイタリア・サレルノ夏期国際音楽講習会に参加。同大学第101回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。

### 森田真帆（もりた・まほ：伴奏ピアノ）

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。卒業演奏会に出演。国立音楽大学大学院器楽専攻伴奏科修士課程修了。これまでに全日本演奏家協会新人オーディション合格。第16回アジアクラシック音楽コンクール優秀賞、第2回ディヒラー・サトウピアノコンクール第2位、第24回飯塚新人音楽コンクール第3位入賞。これまでにピアノを玉置善己、山崎牧子、井上二葉の各氏に師事。現在、国立音楽大学大学院歌曲科伴奏助手。日本フォーレ協会会員、日本音楽療法学会正会員。



### 渡瀬 紀子(わたせ・きこ：クラリネット)

静岡県出身 作新学院高等学校卒業。現在、国立音楽大学 演奏・創作学科 弦管打楽器専修クラリネット4年在学中。第4回K木管楽器コンクールクラリネット部門第2位受賞。第25回ブルグハルト国際音楽コンクール管楽器部門第5位受賞。第21回万里の長城杯国際音楽コンクール管楽器部門大学の部第3位(1位なし)受賞。これまでにクラリネットを武田忠善、伊藤寛隆の各氏に師事。



### 津田 大介（つだ・だいすけ：伴奏ピアノ）

国立音楽大学ピアノ専攻卒業。アンサンブルピアニストとして活動している。第5回DAEPアーティスト選抜コンサートで伴奏賞を受賞。2007年大阪国際コンクール デュオ部門エスポワール賞を受賞。第27回摂津音楽祭（リトルカメリアコンクール）で伴奏賞を受賞。第5回あおい音楽コンクールで伴奏賞を受賞。2007年、2015年にソロリサイタルを開催。ピアノを郷農久美子、作佐部敦子の各氏に室内楽を霧生吉秀氏に師事。エリック・ル・サーージュのマスタークラスを受講。室内楽グループ”mano”メンバー。



### 青木 駿太（あおき・しゅんた：ピアノ）

京音楽大学付属高等学校卒業。この4月より東京音楽大学在学中。高校在学中、コンサート「深沢亮子と門下生達」に出演。イタリアのヴィラサンドラピアノアカデミーにて演奏会に出演。第6回 さくらの街熊谷ガラコンサート出演。第7回 熊谷ひばりピアノコンクール金賞。第28回、34回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会審査員賞。これまでに栗栖麻衣子、内藤公美子、久保春代、樋口愛、半澤佑果、石井克典、深沢亮子の各氏に師事。



### 榎山 礼華（ならやま・れいか：マリンバ）

岩手県出身。盛岡第三高等学校卒業。現在国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修（打楽器）4年管打楽器ソリスト・コース在学中。第22回KOBÉ国際音楽コンクールにて奨励賞を受賞。大学主催第101回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。オーディションを経て、大学有志オーケストラとコンチェルトを協演。これまでに、マリンバ・打楽器を神谷百子、熊谷綾子、塚越慎子、福田隆に師事



## 立石 春花 (たていし・はるか)

千葉県出身。10歳でクラリネットをはじめ、第17回日本ジュニア管打楽器コンクール金賞・文部科学大臣賞受賞、入賞者記念演奏会に出演。第4回K木管楽器コンクール第1位。

クラリネットを武田忠善、エマニュエル・ヌヴェーの各氏に師事。現在、国立音楽大学4年管打楽器ソリストコース 在籍。



## 森 遥香 (もり・はるか : ピアノ)

国立音楽大学附属中学高等学校を経て、現在 同大学鍵盤楽器ソリストコース4年、特別給費奨学生。第14回ショパン国際ピアノコンクールinASIAアジア大会銀賞。第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan金賞・グランプリ。第9回東京ピアノコンクール大学部門第三位。第13回栃木県ピアノコンクールソロ部門G級第四位、シゲルカワイ賞。ベーゼンドルファーアフタヌーンコンサート、第101回ソロ・室内楽定期演奏会等出演。2017年国内外研修奨学生としてムジークアルプ夏期国際音楽アカデミー受講、教授による選抜演奏会出演。これまでに下島薫、星野安彦、菊地珠里、花岡千春、佐野隆哉の各氏に師事。



## 赤堀 唯 (あかぼり・ゆい : ソプラノ)

静岡県出身。浜松日体高等学校卒業。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業、及び歌曲ソリスト・コース修了。同大学院修士課程声楽専攻歌曲科卒業。声楽を秋山理恵氏に師事。国立音楽大学第98回ソロ・室内楽定期演奏会に出演。

## 森田 真帆 (もりた・まほ : 伴奏ピアノ)

(写真と略歴については3P参照のこと)



## 落合 真悟 (おちあい・しんご : チェロ)

5歳よりチェロをはじめ。チェロを植草ひろみ、安田謙一郎、北本秀樹の各氏に師事。室内楽を北本秀樹、磯村和英、木越洋、小森谷泉の各氏に師事。日本音楽舞踊会議主催のFresh Concert CMDJ2014~2018、堀米ゆず子アカデミー2016等に出演、参加している。現在早稲田大学文学部4年及び桐朋学園大学カレッジディプロマコース3年在学中。

## 志村 直樹 (しむら・なおき : 伴奏ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。現在桐朋学園大学カレッジ・ディプロマに在籍中。

KOBE 国際学生音楽コンクールピアノ A 部門優秀賞。ロゼピアノコンクール第1位(富士新聞社賞)。ハマの JACK コンチェルトソリストオーディション合格、ハマの JACK オーケストラとベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番や三重協奏曲を



共演。

これまでにピアノを飯塚まりえ、野口裕紀、瀬川由馬、木村徹、吉村真代、室内楽を音川健二、鷹羽弘晃各氏に師事。

### 岩石 智華子 (いわいし・ちかこ：メゾ・ソプラノ)



桐蔭学園高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を稲葉明子、大島洋子、三縄みどりの各氏に師事。第68回全日本学生音楽コンクール第3位、第16回日本演奏家コンクール第1位を受賞。これまでに藝大大学院オペラ「フィガロの結婚」で花嫁役、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ役、ハイライト公演「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル役を演じるほか、ヘンデル作曲モーツァルト編曲版メサイアでアルトソリストを務める。

### 比護 慧子(ひご・さとこ：ソプラノ)

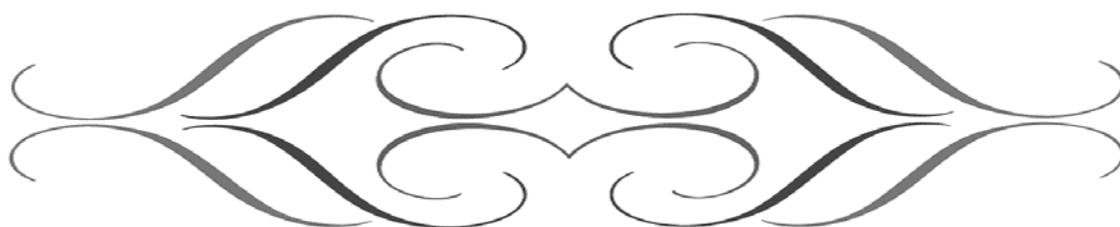
新潟県立新潟中央高等学校音楽科声楽専攻を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。これまでに声楽を北住順子、丸山たい子、佐々木典子、平松英子の各氏に師事。第68回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部において入賞、第49回新潟県音楽コンクール声楽部門ジュニアの部において優秀賞受賞、第二回 vocal record concours "dolce canto" 音楽大学部門において第3位を受賞、第一回日本奏楽コンクール声楽部門大学の部において第2位(最高位)を受賞。世界的ソプラノ歌手 新垣有希子・ピアニスト Luca Gorla 両氏による声楽マスタークラスを推薦受講、修了。15歳でウィーン カールス教会にて行われた交流合唱演奏において、ソプラノダブルソロを務める。多県において訪問演奏、記念式典演奏、また公的教育機関への模範演奏の提供等多岐にわたり活動。また、幼い頃より独学で学んだ美術でも現在活動を展開。今秋よりイタリアに進学予定。



### 前田 奈央 (まえだ・なお：伴奏ピアノ)



3歳からピアノ、7歳から作曲をはじめる。東京藝術大学音楽学部作曲科を卒業。東京藝術大学院音楽研究科音楽文化学ソルフェージュ専攻1年。作曲を小島佳男、久行敏彦、渡辺俊哉、ピアノを羽石彩子、大田佳弘、居福健太郎、ソルフェージュを藤田朗子、テシュネ・ローランの各氏に師事。JOC シティコンサート千葉、新潟、東京で自作曲を演奏する。2016年ピティナコンペティション連弾上級全国大会出場。声楽の伴奏ピアニストとして演奏会に多数出演。



## 《曲目解説 中島 洋一》

### ① ドニゼッティ 歌劇『リタ』より “この清潔で愛らしい宿よ”

ガエターノ・ドニゼッティは(1797-1848)は、ベッリーニとともに、19世紀前半のイタリアオペラ界を代表する作曲家で、多くのオペラ作品を残している。『リタ』は1941頃、パリでグランドオペラを作曲していた頃、気晴らしにサット書き上げた1幕物の喜歌劇である。初演は没後の1960年。なお、原作はフランス語だが、今日では殆どイタリア語訳で演奏させる。

あらすじは、自分の家を火事でなくし、夫を海難事故で亡くした(筈)のリタは、ベルガモでベッペと再婚し、夫を尻の下に敷きながらホテルをきりいもりし、ようやく手に入れた幸せを謳歌している。ところが死んだはずの前夫(ガスパロ)が、突然彼女の前に姿を現す。さて、その後の三人の運命は…。

“この清潔で愛らしい宿よ”前奏のすぐ後にリタが歌うこのオペラ最初のアリア。二長調 2/4 で、“この清潔で愛らしい宿よ”、という詠唱があり、イ長調 6/8 アレグロモデラートからアリアに入り、“家も宿も全てが順調”と歌い、やがて 3/8 アレグロでテンポを速め、“亭主は馬鹿で間抜けな方がよい”と得意気に歌い、La la la と大満足しながら歌い終わる。

このアリアを自信たっぷりに高らかに歌うには、度胸とともにソプラノ歌手の高度な技術が必要とする。若い歌い手がどこまで歌いきるか楽しみである。

なお、このアリアは我が国でも単独で歌われる機会は少なくないが、このオペラ全曲が舞台にかけられる機会は殆どない。

### ② シベリウス ヴァイオリン協奏曲 Opus. 47 第一楽章

ジャン・シベリウス(1865-1957)は、北欧フィンランドを代表する作曲家であり、7作の交響曲、交響詩、劇音楽など多くの作品を残しているが、若い頃にはヴァイオリニストを目指したこともあった。その彼が唯一書いたヴァイオリン協奏曲がこの作品であり、1903年に作曲され、1904年にヘルシンキで初演されたが、1905年に改定され、その後作曲者自身が初版の演奏を禁止したため、この改訂版が、通常版となっている。

作品は3楽章からなるが、ヴァイオリンの独奏部と管弦楽部が緻密な構成のもとお互いが対等に渡り合いながら、重厚で彫りの深い音楽表現を生み出している。ヴァイオリンの独奏部は重音が多く高度の演奏技術が必要とするが、決して表面的な名人芸を狙ったものではなく、深い内面的な抒情性をもつこの作品は、この楽器のための協奏曲の中でも屈指の名作として位置づけられ、演奏される機会も多い。

第一楽章：二短調：2/2 は自由に拡大されたソナタ形式で書かれている。弱音器をつけた弦楽器の和音を背景に、ヴァイオリンがゆったりと静かに第一主題を奏でる。ヴァイオリンのカデンツァ風の動きを経て 4/6 拍子となりチェロとファゴットが第二主題を奏でる。主題は弦楽器、ヴァイオリンと発展的に引き継がれ、変口短調 2/2 で第3主題が現れる。管弦楽が最高潮達した後、次第に音量を弱め、低い変口音に落ち着き、独奏ヴァイオリンに引き継がれ展開部に入る。通常の協奏曲では楽章の終わりに来る独奏楽器のカデンツァがここで現れ、主題を操作し展開して行く。そしてト短調で第一主題が再現し、展開的に変形処理されながら第二、第三主題も姿を現し、原調に戻り、ヴァイオリンが重音で力強く第一主題を奏で、重音で激しく上昇し主音に到達し、壮大な響きのもとこの楽章を終える。

### ③-1 フォーレ：“秋”

“秋”は、フランス歌曲の金字塔をうち立てたガブリエル・フォーレ（1845-1925）が30代の1878年にアルヴァン・シルベストルの詩に書いた歌曲で、20代の頃の作品に比べ、作曲技術や詩の扱い方に明らかな進歩が見られる。

口短調（原調）8/12 アンダンテ・モデラート：右手の八分音符の動きが持続する中、左手が奏する暗示的なテーマに導かれ、“空に靄が立ちこめる秋”と歌い出す。中間部に入り、歌は悔恨の情を歌う。再び最初の旋律がれ“私の目に、20年間忘れていた涙が沸いてくるのを！”と感情を昂ぶらせて歌い、曲を終える。

### ③-2 シャルパンティエ 歌劇『ルイズ』より “その日から”

ギュスターヴ・シャルパンティエ（1860-1954）はフランスの作曲家・指揮者で、管弦楽作品や、2作のオペラ作品を残している。歌劇『ルイズ』は作曲者自ら台本を書き自ら「音楽物語」と称した彼の代表作で、1890年頃か台本から手がけ1896年頃には一応完成させているが、最終的な完成は、この作品が初演された1900年2月の直前といわれている。

『ルイズ』は、フランスのベリスマオペラと謂われており、恋と自由を求めのお針子娘のルイズと恋人、ルイズを自分たちのもとに留めておきたい彼女の両親との葛藤が描かれており、終幕では悲しみにくれる両親を振り払い、ルイズは恋人と共にパリへ飛び立って行く。

“その日から”は、第三幕の前奏の後歌われるこのオペラ唯一のアリアである。ト長調 3/4 アンダンテ：前奏の6度音程を引き継ぎながら“あなたに身を任せたその日から、私の運命は花で飾られた。”とゆったりと愛らしく歌い出し、自分の喜びの感情が昂るにつれて転調して行く。再び原調に戻り、“幸せすぎて体が震えるわ。最初の愛の日のことを想い出すと”と歌う。若い娘のナイーブな恋心を伝える、美しいアリアである。

### ④ ダヴィッド シューベルトの「あこがれのワルツ」による序奏、主題と変奏曲 作品8

フェルディナント・ダヴィット（1810-1873）は、ドイツ系ユダヤ人のヴァイオリニスト・作曲家。メンデルスゾーンがヴァイオリン協奏曲ホ短調を制作中に助言し、その作品を初演した人物としてよく知られている。作曲家としても、交響曲、歌劇、室内楽作品などを残している

シューベルトの「あこがれのワルツ」の原曲はピアノ曲で、シューベルトのワルツ曲集の最初に掲載されており、シューベルトの愛好者なら「ああ、あの曲か」とすぐ思い出す旋律である。

親しみやすい旋律と和声で、ウィーン子の中で大流行したという逸話が残っている、

**序奏：変口短調 アレグロ・アパッショナート 4/4:** ピアノの激しい導入句に導かれ、クラリネットがもの悲しげに歌い出す。やがて、変二調に入り、ピアノとクラリネットが穏やかに対話する。再び変口短調に戻り、属七の和音を延ばし、〈テーマと変奏〉に繋ぐ。

**テーマと変奏：変口長調 アレグロ・エスプレッシヴォ 3/4:** ピアノの八分音符の伴奏に乗り、クラリネットがシューベルトの憧れのワルツを奏す。

テーマに続き、3つの変奏部が続くが、第2変奏は規模が大きく、途中からト短調になり、クラリネットが表情豊かな旋律を受け持ち。最後の第3変奏部では、ピアノがテーマノ旋律を奏で、クラリネットが動きの速いオブリガートを受け持つ。そして ff に達して明るく華やかに曲を終える。

## ⑤ ババジャニアン 6つの描写

アルノ・ババジャニアン(1921-1983)は、アルメニアの作曲・ピアニストである。アルメニアの作曲家としてよく知られているハチャトリアンに比べ、より新しい世代に属し、作風もより現代的であるが、ハチャトリアンと同様、アルメニアがソ連に併合されていた時代に生涯を過ごした。

管弦楽や、室内楽作品も残しているが、特にピアノ作品が演奏される機会が多いようである。

「6つの描写」は1965年に作曲された、6つの小品からなる、ピアノのための組曲である。

ここでは、6曲のそれぞれの内容について、詳しい説明は避けるが、激しく上行する音型と、停滞する音型が交互に現れる第1曲、6/8で書かれ、付点のリズムとトリルが特徴の第2曲目、トゥカータのタイトルをもち、急速なテンポで演奏されるエネルギッシュな第3曲。長目の音符と、細かい音符が交互に現れる短い第4曲。右手に長7度をもつ和音でゆったりはじまり、表情を変えながら執拗に同じリズム型を繰り返す第5曲。同音反復を伴う音型をもち、頻繁に変拍子ながら終曲に相応しい盛り上がりを見せる第6曲、というように、それぞれの曲が、特徴的な音のテクスチャーで書かれ、生命力と歯切れの良さを感じさせる作品となっている。ほぼ無調で書かれているが、決して難解ではなく聴き手を飽きさせることではない。そしてピアニストには、挑戦してみたいという意欲をもたせる魅力をそなえた作品である。

## ⑥ ピアソラ：「タンゴの歴史」より 3. ナイトクラブ 1960

アストル・ピアソラ(1921-1992年)はアルゼンチンの作曲家、バンドネオン奏者：バンドネオンとはアコーディオンに似た蛇腹楽器で、アルゼンチンタンゴで常用される楽器である。彼は、主にバンドネオン奏者として音楽生活をおくっていたが、やがてタンゴに飽き足らなくなり、クラシック音楽を学ぶため1954年にフランスへ留学する。しかし、タンゴこそが自分の原点であることに改めて目覚め、帰国後は革新的なタンゴ作品を多く手がけている。

「タンゴの歴史」の原曲は、フルートとギターのために書かれており、4楽章からなり、各楽章は1900年から30年ごと隔てた年代が記されている。従って3楽章にあたる「ナイトクラブ」は1960年と記されている。

他の楽章もそうだが、「ナイトクラブ」も様々な楽器編成に編曲されている。しかし、マリンバとクラリネットという編成で聴くのは、私にとって初めての機会である。従って編曲された楽譜も目にしていないが、楽器の構造からして、クラリネットが主に旋律パートを受け持ち、マリンバが主に原曲のギターのパートを受け持つことが予想されるが、パートの分担は、演奏を聴く楽しみの一つと残しておこう。

この楽章はA-B-A'-B'+Codaの構造になっており、テンポは急-緩-急-緩-急に設定されている。

まず、デチーソ(決然と)♩=120ではじまるが、次第にテンポが遅くなりBのペザンテ(重く)のセクションでは、4度5度音程からなら虚ろな旋律があらわれる。A'で最初のテンポに戻り、しばらくして冒頭の主題が再現するが、B'で再び遅くなりBの旋律が現れる。最後のセクション(Coda)ではモルト・デチーソとなり、やがて拍子も6/8に変わり、激しくエネルギッシュにこの楽章を閉じる

## ⑦ ショパン：スケルツォ第4番 Op. 54

フレデリック・フランソワ・ショパン（1810-1849）は、ピアノ詩人と呼ばれているが、これだけの大作曲家で、創作の殆どをピアノ作品につぎ込んだ作曲家は他に類をみない。病気がちだった彼は、あまり弾きすぎると感性が摩耗するという理由で、一日に3時間しかピアノに向かわず、その半分の時間を即興演奏に費やしたという言い伝えが残っている。

1842年に作曲された**スケルツォ第4番 ホ長調 3/4 Op. 54**は、彼の4曲のスケルツォの中で、最も明るく幸福感に満ちた作品である。ショパンはピアノリズムや和声法のみならず、楽曲形式においても、先人達の遺産を消化しながらも自由で个性的である。この作品の構成についても諸説あるが、私はソナタ形式的プロセスを含み、A-B-A'-C-A-B-Codaの構造を持った、6部の複合ロンド形式と捉えている。

Aは、ロー嬰ハ-嬰ト-嬰ハ-ロの付点二分音符による緩やかなのモチーフと、四分音符です速く上行するモチーフが組み合わされた第1主題で始まり、属調で細かく動く八分音符を主体にした第2主題が続く、この部分はソナタ形式の提示部の形をもつ。Bは、主に第一主題が展開され転調を重ねて行く、A'では第一主題のみが再現する。

Cは嬰ハ短調で美しい旋律が現れ、その後自由で変化に富んだ楽想が続く。Aは、最初の部分と同じく、第一主題と第二主題の両方が奏される。次のBも前のBと同様、第一主題のみが展開される。そしてコーダは、左手の八分音符に導かれ右手に半音階を含む旋律が現れ、やがて第一主題のモチーフも顔を見せ盛り上がり、明るく華やかに曲を閉じる。この作品は30代に入ったショパンの成長と円熟を感じさせる傑作である。

## ⑧-1 ショーソン 「7つの歌」Op. より 1. ナニー、2. 魅惑

アメデ＝エルネスト・ショーソン（1855-1899）は、はじめ法律を学ぶが、やがて作曲家を志しパリ音楽院に入学し、マスネ、フランクに学ぶ。1881年にローマ大賞に挑戦するが失敗。しかし、その後精力的に作曲活動を行う。しかし、1899年44歳の若さで、事故で生涯を終えた。彼はこの時代のフランスの作曲家の多くがそうであったようにワグナーの影響を強く受けるが、やがて独自の作風を生み出す。彼は音楽史的にはフランスロマン派とドビュッシーに代表されるフランスの近代音楽との橋渡しをする役割を果たした。最も有名な作品はヴァイオリンのための「詩曲」だが、管弦楽曲の他、珠玉の歌曲作品を多く残している。

「7つの歌」（1879-82）彼の最初期の作品で、第1曲、「**ナニー**」はルコント・ド＝リルの詩に作曲されている。ホ長調:3/4 分散和音で奏されるピアノの半音階的動きを受け、「山鳩に愛される森よ泣け」とその半音階を模して歌い出す。途中でオクターブの跳躍が現れ、ゆっくりになり最初のメロディーに戻るが、「愛する祖国よ」と歌うところで最高潮に達し、「ナニーはもう戻ってこない」と、寂しく歌って終わる。

シルヴェストル、アルマンの詩に作曲された第2曲「**魅惑**」へ長調 4/4 は「何が僕の心を捉えたのかわか判らなかった」、「初めて君の涙を目にするまで」と歌う短い恋の歌。音階的に下降する音型でやさしく歌い始めるが、「私は君を愛していることに気がつかなかった。初めて君の涙を目にするまでは」と歌う最後の部分では、下降音型がゆっくりになり終わる。

## ⑧-2 ショーソン 「愛と海の詩」より リラの花咲く頃

ワグナーの豊艷な響きとフランス人ショーソンの感性を融合させた、独唱と管弦楽のための「**愛と海の詩**」(1883-1990)は彼の代表作である。この作品は第1部〈水の花〉→間奏→第二部〈愛の死〉からなっているが、〈愛の死〉の終わりの部分が“**リラの花咲く頃**”であり、この曲だけ演奏会で独立して演奏されることも多い。

二短調：3/4 ピアノの重要なモチーフを引き継ぎ、ゆっくりしたテンポで“リラの花が”と歌い出す。“ああ、楽しく甘い春の季節”と歌うところでテンポが速くなり、“ああ、あなたの口づけでも目覚めさせられない”と歌うところで ff となり、再びはじめのテーマが遅くもの悲しく歌われ、“わたしたちの愛は永遠に終わった”で、消えるように曲を閉じる。

悲しい想いが聴き手の心に染み込んでくる名作である。

### ⑨-1 グラナドス(カサド編曲)：ゴイエスカスより間奏曲

エンリケ・グラナドス(1867-1916)はスペインの作曲家、ピアニスト、アルベニスとともに近代スペインを代表する作曲家である。『ゴイエスカス』は、「恋する若者たち」という副題がついたピアノ組曲であるが、1816年にその作品をもとに同名で三幕のオペラが書かれた。間奏曲は第一幕の終わりに演奏されるものだが、今回演奏される音楽は、それをチェリストのガスパール・カサド(1897-1966)がチェロとピアノ用に編曲したものである。

変ホ長調 3/4 モデラートで始まる。力強い弓奏の導入の後、ピッチカートに続き民族色豊かな旋律が奏される。ポコモデラート エ マルカートの表記がある中間部で fff に盛り上がるが、再びはじめの旋律が見現れ、最後はピッチカートも入り、静かに消えて行く。チェロの高音域の艶やかな音色が魅力の楽曲である。

### ⑨-2 ファリャ：スペイン民謡組曲より 1. 「ムーア人の織り物」 4. 「ホタ」

マヌエル・デ・ファリャ・イ(1876-1946)は、グラナドス、アルベニスの次の世代におけるスペインの代表的作曲家で、バレエ音楽、オペラ、管弦楽作品など多くの作品を残している。

「スペイン民謡組曲」は1914年に作曲された歌曲「7つのスペイン民謡」を、器楽用に編曲したもので、ヴァイオリン版、チェロ版などがある。

1. 「**ムーア人の織り物**」：口短調 3/4、短い導入のあと、チェロはフリギア調風の民族色豊かな旋律を中音域で演奏し、二度目は、オクターブ上の高音域で同じ旋律を演奏する。同じ旋律が音域の違いによってどのように表情を変えるか興味深い。

4. 「**ホタ**」：ホ長調 3/8 アレグロ ヴィーヴォ：ピッチカートを伴う急速な反復音型で始まり、3/4では表情豊かな旋律を奏する。3/8で書かれた急速な部分と、3/4でゆったりと歌う部分が交互に入れ替わり出現し、最後は3/4のゆったりとした旋律に戻り静かに終わる。この動と静の対比がこの曲の特徴である。

### ⑩-1 サン＝サーンス：歌劇『サムソンとデリラ』より “あなたの声に私の心は開く”

長命で多作だったサン＝サーンス(1835-1921)は、13のオペラ作品を残しているが、今日でも上演されるのは、『サムソンとデリラ』だけである。このオペラは旧約聖書に伝えられる『サムソン物語』を題材としている。また、この作品はメゾ・ソプラノがヒロインを演ずる数少ないオペラの一つである。

異教徒ペリシテ人の圧政に苦しむイスラエルの民は、エホバの神に力を授かった剛勇サムソンを立て、反抗する。ペリシテ人は妖艶な美しさをもつデリラにサムソンを誘惑させ、サムソンの力の秘密を探り、虜にしようと企てる。

デリラの誘惑に坑がったサムソンだったが、とうとうその色香に負け、本心を開く。

“あなたの声に私の心は開く”はサムソンの心を掴んだデリラが第2幕3場で歌う歌で、このオペラの中でもっとも有名なアリアである。変二長調 3/4 拍子、絃楽器の 16 分音符の節奏に導かれて始まる旋律は二回繰り返され、原曲ではデリラの魅力の虜になってしまったサムソンの歌声「デリラ、お前を愛している」が入っているが、今回は演奏会形式なので省き、曲を閉じる。

(独唱：岩石 智華子)

## ⑩-2 ヴェルディ：歌劇『運命の力』より “神よ、平和を与えたまえ”

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813 - 1901) は、いうまでもなく 19 世紀イタリアオペラを代表する作曲家で、多くのオペラ作品の傑作を残し、彼の作品は今日でも世界各地で上演されている。

『運命の力』は運命に翻弄される人間の悩みと神への祈りを書いた作品で、1961 年に作曲され、翌年晩秋にロシア：ペテルブルク (現サンクトペテルブルク市) の帝室歌劇場で初演されている。

“神よ、平和を与えたまえ” は、このオペラのヒロイン、レオノーラがこの作品の終わりに近い部分で、いまだに捨て切れない、愛するアルヴァーロへの想いを断ち切ろうと、「自分に死による平和を与えてください」と神に祈る歌。序曲でも登場する運命の指導動機に導かれ *pace* (平和) という言葉が繰り返される。レオノーラの思い詰めた内面を表現するためには、リリコ・スピントの強く響き渡る声が要求され、日本のソプラノ歌手にとっては、なかなかの難曲となっている。

(独唱：比護 慧子)

## ⑩-3 グルック：歌劇『エツィオ』より “あなたの危機に私は震え” 《二重唱》

クリストフ・グルック (1714 - 1787) 現在のドイツで生まれた作曲家で、オペラ、バレエ音楽を多く手がけている。彼は、オーストリアだけでなくフランスでも活動している。彼のオペラ作品としては歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》が、最も知られており、オペラ中で演奏される間奏曲〈精霊たちの踊り〉は、独立した管弦楽曲として、しばしば演奏される。なお、19 世紀のフランスの作曲家ベルリオーズはグルックのオペラ作品を高く評価していた。

歌劇『エツィオ』は紹介した作品より大分前、作曲者が 30 代だった 1749 年にメタスタジオの台本で書かれた三幕のオペラセリアで、1750 年プラハの謝肉祭で初演されている。ローマの将軍エツィオと皇帝ヴァレンティニアーノを巡る話をテーマに作られたオペラで、1731 年には同じ台本で、ヘンデルもオペラを作曲している。

“あなたの危機に私は震え”はこのオペラの第一幕、9 景で、エツィオ (メゾ・ソプラノ) とフルヴィア (ソプラノ) が歌う二重唱。ト長調 4/4 フルヴィアが歌う旋律を引き継ぎエツィオが歌い、二人の声が重ねられていく。途中で属調 (二長調) に転調し、声種の異なる二人の声が美しく絡み合い華麗に音楽を展開して行く。再び原調に戻り、最後はテンポを落とし、トリルでゆるやかに曲を終える。(演奏：岩石 智華子／比護 慧子)

# Fresh Concert –CMDJ 2019–出演者に訊く！

Fresh Concert は一昨年で開催で 15 回の節目を越え、今回で第 17 回目を迎えます。第 1 回～第 4 回までは座談会を開いて記事にてましたが、第 5 回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようになりました。従ってこのアンケート方式を採用してから、今回で 13 回目となります。しかし、2015 年 4 月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、2016 年度からはコンサートのプログラムの掲載されているこの演奏会用パンフレッドに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載することにしております。

以下が、今年用意したアンケート項目です。

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。
2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。
3. 若いうち（30 歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか？。
4. 現在は高齢化が進み、人生 100 年といわれるようになりましたが、80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているのでしょうか、想像して下さい。
5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？
6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？
7. その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）

1. はアンケート項目というより、このコンサートに寄せた各出演者のメッセージであり、毎回掲載していますが、さすがに、各自の演奏に対する意気込みが伝わる、力がこもった文が多いようです。

2. そのものずばりの質問に対して、みなさん真剣に答えています。

3. の「若いうちにどうしてもやっておきたいこと」については、みなさんが自由に答えてくれており興味深く読めました。

4. **80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか** の項目は今年始めて用意した項目ですが、80 歳になっても音楽を続けていたい、大自然に囲まれ穏やかに過ごしたい、というような答えが多かったようですが、AI の進出を予言した回答もありました。

5. の「**音楽以外にどんな趣味**」については、「お笑い」を見ること、野球、ダンスなど色々ありましたが、クッション集めとか、バーテンダーの仕事というような変わったものもありました。

6. **好きな食べ物と、嫌いな食べ物** についてですが、お米が好きという人が多かったのは意外でした。嫌いな食べ物は色々ありましたが、回答者の多くが女性なのに、シュークリーム、甘い物などが嫌いという人もおりましたが、これも意外でした。

全般に、自分の好きな音楽を大切にしながら、これからの人生に対して前向きに立ち向かって行こうという熱意と意欲が伝わってくる回答が多く、頼もしく感じました。出演者の方々は、学部を卒業したあと、大学院に進学するとか、海外に留学する人もいるでしょうが、このコンサートをスタート台にして、社会という大海原に漕ぎ出す人もいると思います。実際に社会に漕ぎ出してみれば、当初心に描いていたより高く激しい荒波にもまれ、苦勞することもあるでしょう。しかし、どのような状況に遭遇しても、情熱、勇気そして柔軟な精神をもって乗り越え、それぞれの道を切り開いて行って欲しいと願っています。

それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。なお、出演者の写真につきましては略歴のページに掲載しておりますので、それをご覧くださいたく存じます。

## ① 鈴木 香栞 (ソプラノ)

### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度はこのような素敵な演奏会に出演させて頂けること、大変光栄に思うと共に、心から感謝致します。

G. ドニゼッティ作曲オペラ「リタ」は1841年の春にたった1週間で作曲されました。宿屋の女主人リタは、気弱な夫ペッペを顎で使ってしまうような気の強い女性です。ある時、死んだと思われていたリタの昔の恋人、ガスパロが宿に現れます。リタと別れたいペッペ、リタと復縁などしたくないガスパロ。そんな二人の男が、リタをどうにかして譲り合おうとするという面白い筋書きと機知に富んだ音楽をもったオペラです。

私が歌わせていただく「この清潔で愛らしい宿よ」は、短い前奏曲の後、一番最初に登場するアリアです。気が弱く従順なペッペを尻に敷き、商売も順風満帆なリタは自分の宿を自画自賛しながら、「私は女王!旦那はお馬鹿で、意思もなく私の言いなり!結婚するならこういう男との方がうまくいくわ!」と強気でお調子者のリタの明るい性格が溢れるアリアとなっています。

コンサートの一曲目にぴったりの曲だと思います。明るく華やかに演奏会の幕開けを彩ることができるよう、精一杯演奏させていただきます。

### 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

何を始めても三日坊主な私が、唯一今まで続けられたものが音楽ではないかとおもいます。それだけ当たり前音楽というものが私の生活の中にあります。だからこそ、当たり前音楽を続けることができていることに感謝したいです。

### 3. 若いうち(30歳くらいまで)にどうしてもやっておきたいことがありますか?

いろんな国に旅行に行きたいです。

旅行を通して音楽だけでなく、いろんなものを見て感じて聞いて、そして食べるのが大好きなので美味しいものを食べて回りたいです。

### 4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。

おばあちゃんになっても、元気に歌い続けていられたら幸せです。

### 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか?

お笑いを見るのが好きです。

テレビだけでなく、よしもとの劇場に行き、漫才や新喜劇などを生でみるのが楽しみです。

### 6. あなたの好きな動物、食べ物は?

好きな食べ物 椎茸。嫌いな食べ物 生魚

## ② 清水 ゆりか(ヴァイオリン)

### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今回このような演奏の機会を頂くことができ大変嬉しく思っています。ソロでの演奏ができる機会は本当に少ないので、聴いて下さる皆様も、弾いている私も楽しい時間を過ごせたらと思っています。今回演奏させて頂くシベリウス作曲のヴァイオリン協奏曲第一楽章は、私が大学受験のときに弾いた曲なのでとても沢山の思い出が詰まっています。その頃から私の頭で描いていた、曲が連想させるシベリウスの故郷の北欧の風景が、演奏を聴いて下さる皆様の目にも見えるように演奏できたらと思います。

## 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

なくてはならないもの。音楽がなかったら生きていけないということではなく、音楽がなかったら不自然に思うものという意味。わざわざ気にかける程ではなくても、お店に行けば必ず何かしらの音楽が流れているし、乗り物に乗っている間もほとんどの人が音楽を聴いている。それが普通だと思っている今、その音楽がなかったら何か不自然に感じると思うから。

## 3. 若いうち（30歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか。

私はクラシック以外の音楽も好きなので、アーティストのバック演奏などもしてみたいと思っている

## 4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。

楽器は寝たきりの生活にならない限り弾けるので、おそらく楽器は弾いていると思う。また、医療技術もまだまだ進歩すると思うので、今考えられる80歳の状況とは実際の未来は変わってくると思う。だから、私たちが80歳になる頃には定年が80歳位かもしれないので、まだ働いているのではと思う。

## 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？

男性アイドルグループの応援、サンリオピューロランドに行くこと、お菓子作り、レジンでアクセサリ作り、など

## 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物：唐揚げ、嫌いな食べ物：香りの強い野菜

## ③ 岡田 優芽（ソプラノ）

### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度フレッシュコンサートにて演奏させていただけますこと大変嬉しく存じます。このような素晴らしい機会を下さり、心より感謝申し上げます。みなさまにとって楽しい時間となりますよう真心こめて歌わせていただきます。今回歌わせていただく曲の一曲目はG. フォーレの歌曲“秋”です。こちらはフォーレの数多くある内の初期の作品で、フォーレが33歳の時に作曲されました。作品18番『3つの歌』のうちの、フォーレ作品として演奏されることの多い“Nel（ネル）”、“Le voyageur（旅人よ）”に続く三曲目にあたります。変わらない毎日、何か欠けたまま、ただ永延と過ぎていく時間。ふと愛が在った時代を思い出し、その温もりに焦がれるのですが、それと同時に人生の秋に居る現実、その冷たさを噛み締めるのです。二曲目、“その日から”は歌劇〈ルイーゼ〉より、主人公ルイーゼの三幕のアリアです。このオペラは1900年にパリで初演されました。パリの街に生きる庶民の姿を描き、『最もパリらしいオペラ』と言われます。主人公のルイーゼは服飾会社に勤めるお針子であり、そして隣の家に住む恋人のジュリアンは詩人です。ジュリアンとの恋を反対され、家を飛び出したルイーゼが恋人と住むモンマルトルのアパルトマンから窓の外に広がるパリを見下ろし、喜びに解き放たれ、夢ではない、本物の幸せを歌います。愛を知った“その日から”、たくさんの哀しみを知ったからこそ知る

喜びは、計り知れないものです。どこか哀調を帯びた前奏からはそのような人生のほろ苦さを感じます。『温かさ』と『冷たさ』、別のもののようで、これらは常に共にあるものなのでしょう。この温度に触れた人の気持ちを歌わせていただきたいと思います。

**2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。**

音楽はわたしを癒してくれる存在で、どんな時でも寄り添ってくれているように感じます。音楽の持つ力は本当に尊いものであると思います。

**3. 若いうち（30歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか。**

母国である日本は勿論のこと、日本以外の国の、沢山の方とお話しさせていただいて、見聞を広めたいです。

**4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。**

故郷の北海道で大好きな自然に囲まれて、大切な人たちとのんびりと暮らすのが理想です。

**5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？**

美味しいものには目がありません。良いなと感じたものを写真におさめることも好きです

**6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？**

嫌いな食べ物はキノコ、好きな食べ物はポテトコロッケなど

**④ 渡瀬 紀子（クラリネット）**

**1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。**

この度はこのような素晴らしい演奏会に出演させて頂き大変嬉しく思っています。今回演奏させて頂くこの曲はクラリネット奏者の方でも中々ご存知の方はいないのではないのでしょうか？あるプロのクラリネット奏者のリサイタルで一度聴いて忘れる事が出来なかった曲です。非常に美しく華やかなこの曲の魅力を少しでも皆様にお伝えできたらいいなと思います！

**2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。**

私の人生に無くてはならないものです。幸せや喜び、時には悲しみや苦しみを感じさせ成長させてくれる存在です。自分を表現させてくれます。

**3. 若いうち（30歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか。**

両親が元気なうちに海外に家族旅行に行きたいです！

**4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。**

大切な人と、平和に暮らしながら孫に会える日を楽しみに生活してると思います（笑）

**5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？**

音楽をやっていなかったらディズニーランドのダンサーになりたいと思ったことはあります。

## 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物は練乳をかけた苺で、嫌いな食べ物はパクチーです。

### ⑤ 青木 駿太 (ピアノ)

#### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

このような素晴らしい機会をいただき大変嬉しく、心より感謝いたします。

今回演奏させていただくのは、アルメニアの作曲家でピアニストでもあるアルノ・ババジャニアン「6つの描写」です。全体的に無調で不協和音が多く、現代的な雰囲気のある作品ですが、その中にある民族的色彩やそのリズムに詩的で哀愁を感じる深い作品です。

日本ではあまり知られていないババジャニアンの作品を伝えていけるように、今日は少しでもその魅力をお伝えできるように頑張ってお演奏します。

#### 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

人生そのものです。常に頭の中に音楽が流れています。

#### 3. 若いうち (30 歳くらいまで) にどうしてもやっておきたいことがありますか。

オーケストラとピアノ協奏曲をやりたいです。小さい頃からラフマニノフの協奏曲を弾くのが夢でしたが、今はババジャニアンの協奏曲も弾いてみたいです。

#### 4. 現在は高齢化が進み、人生 100 年といわれるようになりましたが、80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。

いくつになっても、ずっとピアノを弾いている生活を送ってみたいです。

私の尊敬する深沢亮子先生のように、いつまでも音楽に対して謙虚に向き合っていきたいです。

#### 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？

音楽を聴きながら散歩をすることです。体を動かすことが好きですね。

何も考えず気の向くままに歩くのが好きです。

## 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

肉料理全般好きです。嫌いなものはありません。

### ⑥ 檜山 礼華(マリンバ)／立石 春花(クラリネット)

#### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

管楽器とのデュオは初めてですが、大好きな曲なので楽しくかつこよく演奏したいです。(檜山)  
クラリネットアンサンブルで演奏したことはありましたが、マリンバと演奏するのは初めてなのでとても楽しみです。(立石)

#### 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

いつでもそばにあるもの。(檜山)／無くてはならないもの。(立石)

#### 3. 若いうち (30 歳くらいまで) にどうしてもやっておきたいことがありますか。

リサイタルをしてみたい。(檜山)／日本一周。(立石)

**4. 現在は高齢化が進み、人生 100 年といわれるようになりましたが、80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。**

地元の海が見えるところで静かに暮らしている。(檀山) / 旅して色々なところに行っている。(立石)

**5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？**

クッション集め。(檀山) / なし。(立石)

**6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？**

好きな食べ物 鶏肉、嫌いな食べ物 ソーセージ (檀山)

好きな食べ物 お米、嫌いな食べ物 あさり (立石)

## ⑦ 森 遥香 (ピアノ)

**1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。**

今回はこのような演奏会に出演させていただき、大変嬉しく思っております。

今回演奏致します ショパン作曲スケルツォ第 4 番は、1842 年、ショパンにとって精神的に充実している創造的な時期に作曲されました。ショパンが作曲したスケルツォは 4 曲ありますが、その中で唯一の長調の作品で、パリの貴族の社交場を彷彿させる煌びやかな作品です。3 部形式で書かれ、冒頭は軽やかに駆け巡る、時におどけたようなフレーズが次々と登場します。中間部では一転、祖国ポーランドに思いを馳せ、自分の人生を振り返るようなメランコリックなメロディが現れ、二重唱を挟み、再現へと向かいます。再現部では、冒頭のフレーズが展開され、その後、ショパン自身が自分の人生を華やかに終えようとするかのように、天からの声が聞こえ、神々しいコーダで締めくくられます。

この作品を弾いているとショパンの一生を見ているような気持ちになります。ショパンへの敬意を込めて精一杯演奏したいと思います。

**2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。**

音楽は自分を表現できる手段であり、また、人と人を繋ぐ手段です。自分が今まで出会えた大切な人達は、音楽を通じて出会えた人が大半を占めています。以前どこかで聞いた、「音楽を続けていれば必ずどこかで会えるから」という言葉がずっと心に残っています。その言葉が、私が音楽を続けているモチベーションの一つでもあります。

**3. 若いうち (30 歳くらいまで) にどうしてもやっておきたいことがありますか。**

音楽を通して、多くの人に出会い、沢山のことを吸収したいです。フランス音楽に深く取り組んで行きたいので、フランスに行って勉強したいとも考えています。また、アンサンブルが好きなので、他の楽器や声楽、合唱などと一緒に演奏する機会を数多く持ちたいです。

**4. 現在は高齢化が進み、人生 100 年といわれるようになりましたが、80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。**

何らかの形で音楽を続けていきたいです。私が尊敬している先生で、お歳を重ねても現役でご指導され、いつもとてもお洒落で、お若い気持ちをお持ちの先生がいらっしゃいます。私もその先生のような心を持って音楽に携わってきたいと思います。

**5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？**

ミュージカルを観に行く事です。生の舞台を観て沢山のエネルギーを貰い、自分の演奏への刺激にもなっています。音楽を通して作品の中に入り込めるところがミュージカルの魅力です。最近ハマっているミュージカルは、「モーツァルト！」です。どの楽曲もお気に入りです。ぜひ聴いてみてください。

#### 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物はお餅と白飯です。お餅はよくおやつに食べます。電子レンジですぐに出来上がるのでハマっています。嫌いな食べ物は、小さい頃は甘いものが苦手でした。

### ⑧ 赤堀 唯 (ソプラノ)

#### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度は、フレッシュコンサートに出演させていただけること、大変嬉しく思うとともに、このような素敵な機会をいただきまして心より感謝申し上げます。そして今日の日を迎えることが出来たのも、これまで私を支え、温かく見守って下さった、先生方、家族、友人達のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。本日は、私を支えて下さる全ての方々への感謝を胸に、また会場に足を運んで下さった皆様に、音楽を通して少しでも楽しいひと時を過ごして頂けますよう、心を込めて精一杯演奏したいと思います。

今回歌わせていただく曲は、フランスの作曲家エルネスト・ショーソン（1855-1899）の作品の中から、初期に作曲された《7つの歌》Op. 2 より 1. ナニー 2. 魅惑と、約 10 年間にわたって作曲された《愛と海の詩》より リラの花咲く頃 の 3 曲を演奏させていただきます。ショーソンの世界観と、様々な愛を表現できますように、心込めて演奏させていただきます。

#### 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとって音楽は、いつでも共にある、人生を豊かにしてくれるものです。音楽に触れるだけで喜びや感動を感じることができ、人生の様々な色を教えてくれる、目には見えない美しいものです。今音楽ができること、本当に幸せに思います。

#### 3. 若いうち（30歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか。

音楽をする上で必要な基礎（知識や技術そして表現者としての精神面）や、語学を勉強したいです。

#### 4. 現在は高齢化が進み、人生 100 年といわれるようになりましたが、80 歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。

大切な家族と温かな笑顔溢れる幸せな日常を送りたいです。

#### 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？

ステキな香りに出会うことです。

#### 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物はたくさんあるのですが、季節の果物や辛いものが好きです。嫌いな食べ物が思いつかなかったのですが、苦手な食べ物はレバーです。

### ⑨ 落合 真悟 (チェロ)

#### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今年もフレッシュコンサートで弾かせていただくことになり嬉しく思っています。毎年演奏の機会をいただいてとても感謝しております。今年は慣れないスペインものに挑戦することにしました。スペイン特有のリズムなど課題がとて多いですが、頑張りたいと思います。

## 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

僕にとって音楽は心の支えとなっているように感じます。最近では音楽に費やす時間も多くなってきているので、日常的に音楽があるというのは幸せだと感じます。

## 3. 若いうち（30歳くらいまで）にどうしてもやっておきたいことがありますか。

一度音楽をヨーロッパなど音楽の本場で勉強してみたいという気持ちがあるので、今はそれができる準備をしたいと思います。

## 4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているでしょうか、想像して下さい。

AIがとってかわって人間の働き方も大きく変わっていくと言われていますが、それにともなって人間の価値観も大きく変化し、良い意味でも悪い意味でもより無駄のない効率性を求める生活をしているのではないかと想像します。

## 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？

野球

## 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

回鍋肉、らっきょう

## ⑩ 岩石 智華子（メゾ・ソプラノ）／比護 慧子（ソプラノ）

### 1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今年の3月で大学を卒業致しました。卒業という一つの節目にこのような機会をいただき歌わせていただけること、大変光栄に感じています。また今後の音楽人生における新たなスタートとしても、今日の日を忘れず精進して参ります。

今回歌わせていただく「あなたの声に私の心は開く」は、オペラアリアの中でも大変有名な曲で、メゾソプラノなら誰でも憧れる曲なのではないかと思えます。大学2年生の時からこの曲を勉強し本番でも歌いたいと思っていたのですが、当時の私の声にはまだ早く本番の舞台では歌えずにいました。そんな思い入れの強い曲だったので、今回歌わせていただけることになり本当に嬉しく思います。

『サムソンとデリラ』は旧約聖書の中の物語に基づきサン＝サーンスが作曲したオペラです。この曲を歌うヒロインのデリラは復讐のためにサムソンを誘惑し、陥れようとしています。デリラは女の色香で迫り、サムソンはそれに勝てず身を滅ぼすことになるのですが、この曲の甘美な旋律からは正にデリラの甘い誘惑を感じ取ることができます。実際の私はデリラのような女性とはかけ離れていて、彼女の思いや人物像を歌で表現することは難しいと感じることもありますが、オペラの魅力は役を通して色々な人物になり切れることなので、本日は精一杯デリラを演じたいと思います。（岩石）

この度はこのような素晴らしいコンサートに出演させて頂けることになり、とても嬉しく光栄に思っています。ご来場頂くお客様はもちろん、共演者・関係者様各位、この日を作って下さった全ての方への限りない感謝を、この場を借りて綴らせて頂きます。私はこの度 G. ヴェルディの歌劇「運命の力」よ

り、ヒロインであるレオノーラのアリアを歌わせて頂きます。人間の生々しい感情、複雑な人生、人知の及ばぬ運命が交錯した壮絶な物語が、ヴェルディの豊かで鮮やかな音楽により見事に色付けられたこの大作は、長く私の憧れでありました。舞台ではレオノーラが私の歌声を通して語ってくれているのだと思うと同時に、この曲を歌うことで、演奏者である私もお客様もレオノーラという女性に会うことができたらと思っています。(比護)

## 2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

正直、音楽がどのようなものであるか掴めずにいるのですが…物心つく前から音楽に興味を示していたようで、歌うことも大好きな子供でした。そのような点から考えると、私にとって音楽は潜在的なもので常に軸のように私自身を支えてくれているものなのだと感じています。(岩石)

強いて言えば、音楽は夢なのだと思います。“人の心を生かす夢”。そして、世界のあらゆる壁を越える“平等”でもあるのではないのでしょうか。人の心に流れる音楽は、何があっても誰にも奪えないものですから。(比護)

## 3. 若いうち(30歳くらいまで)にどうしてもやっておきたいことがありますか。

今は技術を磨き知識を深め、力を蓄える時期だと思っています。歌の本場であるヨーロッパにも行ってみたいです。自分が演奏する曲の作曲家や、歴史上の音楽家たちが学んだ環境を肌で感じ、演奏に昇華できるよう様々なことを学び吸収していきたいです。(岩石)

若さに限定したことではないですが、その時自分にある感性や感情を忘れずに、衰えさせることなく育て続けていきたいと思います。(比護)

## 4. 現在は高齢化が進み、人生100年といわれるようになりましたが、80歳になった頃のあなたはどんな生活を送っているのでしょうか、想像して下さい。

私に最初に歌を教えてくださいました先生が昨年古希を迎えられコンサートをされました。先生の歌はしっかりと客席を包み、静かにして力強く、聴く人の心に響く素晴らしい演奏でした。そしてお声は以前にも増して磨きがかかりパワーアップされたように私には感じました。その先生は、次は80歳でコンサートをしたいとおっしゃっていました。もうお一人、高校生の頃から大学でも師事致しました先生から、私が卒業後の進路に悩んでいる時に、「歌は続けることが大切、それが一生の勉強になりそして喜びになるのよ」とのお言葉をいただきました。

お二人とも音楽を学生の頃からずっと続けて来られたからこそ、今も舞台上で歌われ人々を魅了する素敵な演奏をされるのだと感じます。私も先生方のように生涯音楽を続け、いくつになっても舞台上で演奏をし、聴いてくださる方々と繋がってたいです。(岩石)

長生きはそれ程望みませんが、いくつになっても自分の中に生まれ続ける夢、それを追いかける。そして80年歌った私が見、聴き、得た宝物を、余すことなく音楽を望む全ての人へ伝え続けるつもりです。(比護)

## 5. 音楽以外にどんな趣味をおもちですか？

小学4年生のクリスマスにサンタさんにねだり、家にピノキオの小さなマリオネットがいます。そのマリオネットを操って遊ぶのが楽しい時間です。(岩石)

趣味と言えるかわかりませんが、幼い頃からアンデルセン童話が大好きで、特に人魚の魅力に引き込まれて仕方がありません。世界中に残る人魚の物語や文献を紐解いたり、自分の思う人魚像を描いたり。そしてもう一つ、独学で取得したソムリエの資格を活かし、バーテンダーとしてカクテルを提供・研究することを楽しんでいます。(比護)

## 6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物:基本何でも好きですが、特にお米が大好きで、お寿司、オムライス、チャーハンには目がありません。嫌いな食べ物:パクチーの美味しさにはまだ気付けていません。(岩石)

食べることは大好きです。特別好きなものは あんこ、飲み物ではコーヒーにチョコレートを溶いた「カフェモカ」が好きで、休日に味比べや美味しいお店を探し歩いたりしています。シュークリームは苦手です。(比護)



## 日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

### ◆会員へのお誘い

本会是一个の専門だけではなく、声乐、器乐、作曲、研究、评论、教育、轻音乐、舞蹈、などさまざまなジャンルの専門家で構成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、準会員の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした青年会員 (年額 11,000 円) という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

### ◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎号お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は 1 口 10,000 円で、1 口以上からお申し込みになれます。

### ◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事 (コンサート、研究会など) について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎号お送り致します。

・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎号お送り致します。

### ★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年 4 回発刊されておりますが、年間購読費 3,200 円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎号郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所 (電話 03-3369-7496) へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議 (TEL/Fax03-3369-7496) ・

e-mail: info@cmdj1962.net